

市政のここが聴きたい！

一般質問

一般質問とは、議員が市政全般にわたり市長をはじめ執行機関側に、事業の執行状況や将来の方針などを質問し、説明を求めるものです。

※一般質問の様子もホームページで録画配信中ですのでご覧ください。

今定例会では、ワクチン接種をはじめ、執行機関における新型コロナウイルス感染症対応事業の万全な執行を優先・支援する意図で、多くの議員が自主的に配慮し、一般質問を見送りました。

問 市内中学校6校の校則には、合理的理由がなく、教育上の目的も不明なものが見られる。靴下や肌着の色の指定のほか、教室の移動や入室の制限をするような校則は見直すべきでは。

答 校則は、生徒の行動指針であり、生徒一人一人に心じて内面的な自覚を促す指導は重要である。学校を取り巻く環境や生徒の実態は絶えず変化していることから、校則の内容が生徒や学校の実態、保護者や地域の願い等を踏まえたものになるよう適宜見直しを図る必要がある。

問 見直しのプロセスは、最終的には校長の判断だが、教職員、生徒会、保護者、地域の方などの関係者の総意で決めることが重要である。学校運営協議会で協議していたことも一つの手法と

問 携帯電話基地局に関するトラブルについて

答 現在、243件の基地局（5G対応を除く。）が市内にあり、今後、5Gの整備に伴い増加傾向が続く。トラブルがあった場合には、事業者に対して地元自治会等に十分な説明をするよう要請する。

問 携帯電話基地局の整備は、防災防犯の観点からも重要だが、電磁波の影響や景観の変化等、生活環境を巡るトラブルが起きやすい。基地局設置に対する市の見解は。

問 コロナ禍でのフレイルの予防について

答 介護認定率は13%程度で横ばいだが、健康事業の見送りなどでフレイルの進行が懸念され、注意深く見守る必要がある。啓発として広報ひだかに特集を掲載するなどのほか、一人暮らしの高齢者には、地域包括支援センターが訪問を強化する。

問 コロナ禍でのフレイルの予防について



中学校の校則について

田中 まどか

チェックしてみましょう

「フレイル」をご存知ですか？

「フレイル」とは、一般に「年齢により、心身の活力が低下した状態」をいいます。早をとると、能力が落ちたり、全身の機能が衰えたりと、からだがかろうじてまわってしまっている状態です。こういった状態が続くことで、介護が必要状態になってしまうことも多いのです。

食欲不振・栄養不足	運動不足や活動低下	社会参加の欠如
食べない・飲み水も飲まない	ほとんど運動をしない・なんでも寝てしまったり	一人でいることが多い・近所の人と話をしない

こういう状態を感じている方は要注意…
「フレイル」の状態が始まっているかもしれません！

出典：埼玉県後期高齢者広域連合のパンフレット